

ようこそ『習志野高等学校』へ



今年度4月に赴任いたしました小西 薫です。

どうぞよろしくお願いいたします。

さて、習志野市立習志野高等学校は、昭和29年(1954年)、千葉県下16番目の市として誕生した習志野市の初代市長であります白鳥義三郎氏が、本校の創設に尽力され、昭和32年(1957年)に県下2番目の市立高校として創立された、普通科と商業科を併設する学校です。今年で創立62年目を迎えます。同窓生の数は、21,000名余りにのぼり、千葉県内はもちろん全国でも活躍しています。

今年度は、地元の習志野市はもちろん、千葉県全域から327名の新入生を迎え、全校生徒958名でスタートしました。

ここで本校の教育目標をご紹介します。

(1) 文武両道の伝統を継承し、豊かな人間性と社会を逞しく生きる力を育成する。

(2) 体・徳・知のバランスのとれた人材を育成する。

そのために本校では、生徒の失敗を恐れず何事にもチャレンジする姿勢、「ナンバーワン」を目指すひた向きの努力、「オンリーワン」の志の実現に向けての真摯な努力を大切にし、これまでの伝統を継承しながら新しいものも取り入れた教育実践に努めております。まずは教職員が「範」なり、生徒を導いていきます。

ここで本校の特色を二つ紹介いたします。

まずは進学実績です。

昨年度の大学・短大・専門学校への進学率は91.5%で、そのうち四年制大学への進学は77.2%となりました。学校での学習や部活動等を頑張っている生徒が多く、指定校推薦入試等で合格する生徒が多いですが、一般入試でも東京六大学等に現役合格しています。

二つ目は部活動です。

運動部では、これまで硬式野球部、サッカー部、ボクシング部、男子バレーボール部、男子バスケットボール部、剣道部、柔道部(個人)が全国制覇を成し遂げています。体操競技部、弓道部、ソフトボール部は全国大会で活躍するとともに、女子バレーボール部、空手道部をはじめ、すべての部活動が県内でトップレベルであり、更なる高みを目指し、日々厳しい練習を積み重ねています。

文化部では、全日本吹奏楽コンクール大会や全日本マーチングコンテストでの金賞受賞の常連である吹奏楽部をはじめ、美術部、生物部、演劇部、書道部、文芸部、軽音楽部、商業部、茶道部、手芸同好会が、日々一所懸命に活動しています。

さて、今年度も、どの部活動からどんな素晴らしい報告がされるのか、今から楽しみです。部活動の活躍に期待しています。

習志野高等学校は、創立当初から脈々と受け継がれてきた「習志野の王冠たれ」「雑草の如く逞しく」「文武両道」の精神を今後も継承し、これからも全国にその名を響き渡らせます。

このホームページをご覧いただいている皆さま方の、本校教育に対する一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、中学生やその保護者の皆様には、是非一度、本校に足をお運びいただき、活気に満ち溢れ、生徒が生き生きと活動している学校の様子をご覧ください。

習志野市立習志野高等学校

校長 小西 薫